

平成31年度 第1回学校運営協議会 議事録

- 1 日 時 令和元年5月15日(水) 15:00～16:30
- 2 場 所 長狭高等学校 応接室
- 3 参加者 出席者6名(欠席者1名) ※他に県教育委員会より2名、担当職員2名
- 4 司 会 定時制教頭
- 5 次 第

- (1) 開会の言葉
- (2) 任命書の交付
- (3) 県教育委員会挨拶
- (4) 各委員・県教育委員会・担当職員の紹介
- (5) 学校運営協議会の概要について
- (6) 会長・副会長の選出(吉村会長・本多副会長に決定)
- (7) 協議
 - ア 平成31年度学校経営について(校長から)
- (ア)

本年度の重点目標ですが、全日制・定時制とも別紙のとおりです。

基本的に前任者を引き継ぎました。しかし、人も変わりましたので、自ずと、この目標等についてはウエイトの置き方が変わってくると思います。その、ウエイトの移動と他校にはない目標を逆に、どこにでもあるものについては省略して、バランスを勘案して、説明をしていきたいと思えます。

まず、目指す教師像ですが、これは全日制・定時制とも同じです。ここに書かれていること全く持ってその通りになってほしいという願いです。しかし、私はその中でもVの部分に踏み込んでいきたいと思えます。

私が目指す学校は、職員が勤めていて楽しいと思える学校です。巷ではよく、「すべては子供たちのために」という言葉が聞かれますが、確かにそれも大事ですが、しかし、なんといっても職員が眉間にしわを寄せて仕事をしていたのでは生徒にいいわけがありません。そのためには、職員の負担を軽減することだと思えます。

このことは、真剣に取り組むべき問題であると思えます。今はやりの「働き方改革」に乗っかるのでは無く、以前から私が考えてきたことを行おうと考えているからです。私がこれに力を入れる理由は、今の教職員の働き方にメスを入れないで放置しておく、優秀な人材が教育界に集まらなくなってしまうという懸念があるからです。このことは、必然的に教員の質の低下につながっていきます。

そのために、行事の見直しに関して意見を求め、年度当初に計画されていたものも含め、職員の負担が過重になっているもの、伝統行事ではあるが形骸化しているものはカットする、ということを考えています。

もう一つは、世間の理解を得るということです。例えば、一つの例として、大抵の学校では現在、一斉メールで、電車の遅れ等についての連絡を逐一連絡しています。これが、ちょっと遅れただけでもお叱りを受けます。そうすると、担当者これは主に教頭先生が担っていますが、毎日5時に起きて電車の遅れ等を毎日確認しなければならなくなります。そんなことは実際にはできません。青春ドラマの中の万能教師像を世間の方々に見直していただき、小泉内閣の時によく言われましたが「聖域無き構造改革」へ第一歩を踏み出したいと思えます。先生方が明るく、笑顔で生徒に接することができる雰囲気を作ってい

たいなと思っています。

次に、重点目標について説明いたします。なんとと言っても全日制・定時制共に地域との連携です。コミュニティ・スクールとして、地域連携を一層推進するとともに、特に、全日制については、医療・福祉コースの充実を図る必要があります。本校は、まもなく100周年を迎える地域に根ざした伝統校です。学校の周辺を取り囲む状況は、OBに囲まれているというのが正直なところでしょうか。私自身が、OBでないのでよく分かります。地域を無視しては、学校の経営が成り立ちません。コミュニティ・スクールのメリットを十二分に生かして、地域との連携を深めていきたいと考えております。

特に、全日制について言えば、近くには日本でも十指に入る巨大病院と医療大学があり、この、地の利を本校に取り入れられない手は無いと思います。目標達成に向けての具体的手立てに、医療コース3年生の外部実習を年2回以上実施し、専門性を向上させるとともに、福祉コース3年生全員に「介護職員初任者研修」を修了させることを考えました。「医療を希望するなら長狭高校へ」を看板の一つにしていきたいと思います。

また、地域には他にも大学があります。沢山の留学生を積極的に受け入れているこの学校と、高大の連携を深めて行きたいと考えております。まず、一番簡易な方法として、英語会話教室が良いと思い、前任者を引き継ぎました。

次に、全日制では1番、定時制には2番に掲げられていることです。wifi環境の活用です。手立として、wifi環境を活用した授業づくりを若手教員を中心に考えています。前任者が、wifi環境を校内に整備したおかげで生徒には充実した環境が整ったわけですが、実際のところ勉強に関してどれだけこれが効果を上げているかは疑問です。まだ緒に就いたばかりです。このシステムを利用した教材開発が是非とも必要と考えます。それがなければ、絵に描いた餅に等しいのではないのでしょうか。若手教員を中心に考えさせたいと考えております。

次に、これは全日制が2番に挙げていることですが、定時制にもつながることだと思います。3年間を見通した段階的かつ系統立った指導を通し、生徒一人一人が夢実現に向け、主体的に取り組む態度を育成します。いわゆる進路実現です。

本校平成30年度の全日制卒業生159名の進路概況は、大学・短大63名39.6%、専門学校58名、36.5%、就職・公務員38名、3.9%となっています。これにプラスして定時制の進路があります。

この数字を見ると、本校の生徒の進路先は、一つの方向に偏りがなく、見事に均等に分かれます。このような多岐にわたる生徒の進路実現には、バランスのとれた教員の人材育成が欠かせないと考えます。教員の能力が上がらなければ、先に述べた、目標の達成はおぼつきません。そこで、手立てとして 全日制・定時制職員との相互授業見学による意見交換会により、人材育成を行うことを考えました。

私自身、中学校、特別支援学校といった、異なる学校種を経験させていただいて、これが現在の私の一翼を形成していると言っても過言ではありません。大変、勉強になりました。このような体験をすることは、教員の人材育成にプラスになると考えます。

次に、定時制で特に力を入れたいことの説明をいたします。本校定時制の生徒数は4学年すべてを合わせて20人と少人数です。また、年齢も同じ歳の人間がそろっているわけではありません。そこで、おのずと、全日制とは違ったアプローチが生徒に対して求められます。定時制の生徒は、様々な事情を抱えて入学してくる生徒が多いです。

なんとといっても、全員卒業を目指します。4番に社会生活と学業の両立を目指すことで集中力と忍耐力を養うと共に、効率よく時間を使う力を養う、とあります。職員に対し、4

年生全員を卒業させることをモットーに、生徒にきめ細やかな指導を行うことを徹底させる、社会生活と学業の両立を図る。保護者アンケートの満足度80パーセント以上を考えています。

20人の生徒が全員、昼間に働いています。疲れて、眠い目をこすりながらの勉強になると思います。こういった生徒を全員卒業させるための、教員の力が問われるところです。きめ細やかな指導ができるか、その保護者の意見等を聞きながら、職員を指導していきたいと思います。以上で、学校経営についての説明を終わります。

(イ) 質問及び意見交換

Q 働き方改革ということで、職員の負担を減らすことについて、何か想定していることはありますか。

A 私が思っていることは、仕事は時間では測れないということです。ゆっくりやりたい人もいれば、早くやりたい人もいます。退勤時間を決めることはむしろストレスになります。問題となっていることは、仕事量が多すぎるということです。先生方にはスーパーマン的なことを要求されています。まずは、仕事量を減らすことだと思います。職員の負担が大きいのであれば、伝統的な行事についても見直すことを考えています。

Q 先生はどのくらい遅くまで残って仕事をしているのですか。

A 今年の統計はまだですが、前任校では、月80時間以上残業している職員は10人以上いました。もっといるかもしれません。部活動指導が最も大変だと思います。

(ウ) 承認

会 長 本年度の学校経営について、承認いただけますか。

全委員 異議なし→承認

イ 教育計画について

(ア) 概要説明

(全日制教頭から)

校務分掌、各部分掌、委員会、教科主任、生徒委員会担当はご覧のとおりです。

始めに、総務部ですが、入学式や卒業式等の式典関係、学校要覧、規程集等の作成・管理、PTA関係、渉外などとなっています。教務部は、授業計画、試験など授業に関わる仕事です。進路指導部は、生徒の様々な進路希望に対応できるよう支援を行っています。生徒指導部は、生活面、行動面、安全面を含め、生徒が安心して学習でき、能力を伸ばしていくために、普段の基本的な生活習慣の指導から丁寧に行っています。

保健管理部は、校舎内外の環境整備・美化や、健康診断、防災訓練等の企画運営、夏場のエアコン、冬のストーブといった管理をしていきます。事務分掌はご覧のとおりです。

各学年目標については、学年主任を中心として目標を立て、職員が目標達成に向けて職務を行います。

(イ) 質疑及び意見交換

Q 説明を聞いて、先生方の余裕がないような印象を受けました。そういった状況で先生方が仕事をしていると、生徒にも影響が出るんじゃないかなと思いますが、学校としていかがでしょうか。

A 8クラス規模の時から4クラス規模の職員数に減ってきているのですが、学校行事はほとんど変わっていません。そのため、職員の負担感があると思います。職員数を増やすことは難しいようですので、行事を精選していく必要があると思われます。

Q 部活動の精選などは難しいのでしょうか。

A 昨年、チームがつかれない運動系部活動がありましたが、今年新生が来てチームがくれたということがあります。このようなこともあるため、部活動を減らすことは難しいです。

(ウ) 承認

会 長 本年度の教育計画について、承認いただけますか。

全委員 異議なし→承認

(定時制教頭から)

全校生徒は20名です。個に対する教育を充実させることを目指しています。生徒は落ち着いて授業を受けています。職員の人数が少ないため、全員が各部の分掌に名前が入っています。昨年度から給食が廃止となり、夕食となりました。部活動については、最終電車の関係もあり、毎日行っていないです。

(イ) 質疑及び意見交換

なし

(ウ) 承認

会 長 本年度の教育計画について、承認いただけますか。

全委員 異議なし→承認

ウ 平成31年度地域連携の取組予定について

(ア) 全日制・定時制の取組についてご説明します。(全日制教頭から)

広報活動についてですが、学校のホームページ、ポスター、学校案内、鴨川駅の連絡通路にある掲示板の活用、コミュニティ通信をより見やすく、わかりやすくし、地域の方々、中学生、保護者に見ていただき、学校についてより知っていただけるようにします。

地域連携事業につきましては、通年としては、近隣小学校・中学校・大学、総合病院等と連携させていただきます。4月からほぼ毎月さまざまな連携活動を行っています。6月には鴨川市にお願いして、主権者教育を行います。秋には市の文化祭、青年の家まつり等に部活動が参加しています。幼稚園での実習、強歩大会などもあります。また、来週末には鴨川市前原横渚海岸での清掃ボランティアに参加します。

定時制の方は夕方からの登校ですので、なかなか連携活動に関わることができないのが現状です。

(イ) 質疑及び意見交換

なし

(ウ) 承認

会 長 本年度の取組予定について、承認いただけますか。

全委員 異議なし→承認

(8) 報告(全日制教頭・定時制教頭から)

・本校の現状について

(9) その他

・第2回学校運営協議会は10月9日(水)にミニ集会と合同で開催予定です。

(10) 閉会の言葉